※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学探究	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	文学のとびらを開く　近現代文学名作選（明治書院）						
副教材等	カテゴリー別　コトバ漢字（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代を代表する文学を読むことを通して、豊かな想像力を培ってください。人々の心の機微や情景を日本語という文字から学び、自己の見ている世界の新しい見方を見つけましょう。また、主体的に文学を読むことで、言葉を通して積極的に他者と関わろうとする姿勢を養いましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実生活において使用される漢字を書くこと、読むことができる。 ・登場人物の感情の機微や、情景が表すことがらを読み取ることができる。	・登場人物の心情を、文章における表現描写から読み取り、自己の言葉で表すことができる。 ・文章の構造を理解し、その構造が読者にどういった印象を与えるのかを考え表現することができる。 ・当時の社会情勢と作家の生涯から、その作品が何を反映しているものであるかを考え表現することができる。	・言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすることができる。 ・言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすることができる。 ・言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期（後期）	タイトルの由来を考える ［教材］ 『途中下車』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[書]：タイトルの由来を自己の言葉で考えることができ、またそれを表現することができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検
	虚栄心を考える ［教材］ 『鼻』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[書]：登場人物が自己の体に対してどういった感情を抱いているのか、その変遷を表現することができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検
	社会批判と作品の関連性について考える ［教材］ 『山椒魚』	a：登場人物の心情を読み取ることができる。 b[読]：作品のどういった点が社会批判となっているのかを考え判断することができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検
	登場人物の心情を正確に捉える ［教材］ 『こころ』	a：登場人物の感情の機微を読み取ることができる。 b[読]：登場人物の心情の変遷を物語の流れに沿って読み取ることができる。 c：他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・ワークシート ・発問 ・単元テスト	・記述の点検 ・発問 ・単元テスト	・行動の観察 ・記述の点検

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３～５　）時間

・書くこと　…　（　２０～２５　）時間

・読むこと　…　（　２０～２５　）時間